広報くりやま
5月号
Vol.1328
毎月1日発行　令和2年5月1日発行

元気に帰ってきてね
サケ稚魚放流会

夕張川自然再生協議会が主催する、サケ稚魚放流会が雨煙別川支流の高橋の沢川で4月4日に行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サケの稚魚を育てた里親と関係者の参加に限定し、規模を縮小した内容での開催となりました。

はじめに高橋慎会長から「皆さんが大切に育てたサケがまた雨煙別川に戻ってこれるよう、夕張川の魚道整備などを行ってきました。今年は、中央橋付近にサケの産卵床を作るなど夢のある事業を計画しています」とあいさつ。その後、一般社団法人流域生態研究所の妹尾優二所長から、サケの稚魚放流の仕方などの説明を受けると、さっそく親子連れなど関係者約100人は、サケの稚魚約10,000匹を放流しました。今回、お母さんと参加した大浦沙也加さん（9歳）は「いつも見える場所に水槽を置いて卵からサケを育てました。元気に帰ってきてほしい」と話していました。

編集担当者のひとりごと

▼今月号は、3年ぶりに新社会人特集を組ませていただきました。新型コロナウイルスのニュースが連日報道され、明るい話題が少ない状況の中、フレッシュな新社会人たちの元気を分けていただこうと思い企画しました。取材中もキラキラと輝く新社会人の瞳を見て、私も頑張らなければと思いました。（小林）

▼今月号の特集のため、共立道路株式会社に取材に伺いました。新社会人の撮影のあと、工場の写真を撮らせていただきましたが、間近で見るとかなり迫力があります。写真部の時は無機物や建物の写真を中心に撮影していたので、懐かしさを覚えました。（佐藤）

▼4月の人事異動で、教育委員会に配属となり「マナビィ」を担当することになりました。初めての広報作成は、使い慣れていないパソコンソフトや文章に戸惑うばかりで、なかなか悪戦苦闘。少しでも早く慣れたいものです。皆さんに読んでもらえる紙面を作ることを目標に今年度頑張ります。どうぞよろしくお願いします。（武岡）

[発行] 栗山町　[編集] 総務課／教育委員会　[印刷] 山東印刷株式会社
〒069-1512 北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地　[ホームページ] http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/
☎0123-72-1111 FAX 0123-72-3179　[E-メール] kouhoubousaijouhou-g@town.kuriyama.hokkaido.jp
■ 次号「広報くりやま6月号」の原稿締切は5月15日㈮まで
■ 提出先：町総務課広報・防災・情報グループ　☎73-7501（直通）

道産子 地産地使用
間伐で未来につなぐ北の森